

令和元年度行政評価の結果等について

1 本市の行政評価の概要

総合計画で掲げた長期的な目標の達成度を包括的・体系的に評価するため、行政評価は、「政策評価」「施策評価」「事業評価」の3階層で構成する。

評価の種類	概要
政策評価 (5年に1度実施)	総合計画基本計画の政策体系に基づき、基本施策における目指すべき市民生活の状態の達成度を測り、市民満足度の向上を目指すもの (「第6次総合計画基本計画」の策定に向けて、「第5次総合計画後期基本計画」の総括評価として平成28年度に実施した。)
施策評価 (毎年実施)	基本施策に連なる各施策について、施策の進捗状況や市民満足度の推移などを踏まえて、施策の課題抽出や今後の方向性を検討するもの
事業評価 (毎年実施)	各事業について、施策目標を達成するために何が有効であるかという視点から、今後の取組方針を検討するもの

2 施策評価の評価方法

本年度実施する行政評価は、「第6次宇都宮市総合計画基本計画」の計画期間、初年度である「平成30年度」が対象となることから、「第6次宇都宮市総合計画基本計画」の体系に基づき評価を実施

※ 評価方法の変更点については、[参考資料1](#)参照

3 評価結果の総括

(1) 施策評価の総括 ([別紙1](#)参照)

ア 評価結果(全体)について

- ・ 85施策のうち、「順調」が20施策(23.5%)、「概ね順調」が65施策(76.5%)であった。
- ・ 全ての施策において「概ね順調」以上となっており、特に、「魅力・交流・文化」の分野や、「産業・環境」の分野で、「順調」の割合が高くなっている。引き続き、全ての分野で各取組を着実に推進していく必要がある。

[評価結果の全体概要]

区分	令和元年度 施策数(割合)
順調	20(23.5%)
概ね順調	65(76.5%)
やや遅れ	0(0.0%)
計	85(100.0%)

イ 個別指標ごとの結果について

① 産出指標の達成度

- ・ 85の指標のうちA評価が49指標(57.6%)、B評価が36指標(42.4%)、C評価が0指標であった。
- ・ 全ての指標においてB評価以上となっており、引き続き、各取組を着実に推進していく必要がある。

② 成果指標の達成度

- ・ 85の指標のうちA評価が38指標(44.7%)、B評価が44指標(51.8%)、C評価が3指標(3.5%)であった。
- ・ 一部の指標において、C評価となっているが、こうした要因の分析を進め、目標達成に向けた取組をより一層推進していく必要がある。

③ 市民意識調査結果

- ・ 85施策のうちA評価が1施策(1.2%)、B評価が64施策(75.3%)、C評価が20施策(23.5%)であった。
- ・ 「児童虐待」や「集中豪雨」など、平成30年度の社会問題等に関連する分野の多くがC評価となっており、外部要因が市民意識調査の結果に影響したものと推測される。

④ 主要な構成事業

- ・ 85施策すべてにおいて、構成される主要な事業の進捗が「計画どおり」(100.0%)であった。
- ・ 引き続き、取組を着実に推進していく必要がある。

(2) 事業評価

- ・ 評価の対象となる872事業のうち、各事業の今後の方向性として、「継続」が770事業(88.3%)、「見直し(予定を含む)」が102事業(11.7%)であった。
- ・ 対象となった事業は、ほぼ「計画どおり」進捗しており、各分野で着実に事業が実施されている。
- ・ 見直し等を予定している事業については、人口減少や人口構造の変化に的確に対応するために重点化した取組である、「産後ケア事業」や「家庭の教育力向上事業」等の子育て分野のほか、ネットワーク型コンパクトシティ形成に資する「立地適正化計画の推進」、「ようこそ宇都宮へマイホーム取得支援事業」等、都市空間分野に係る事業の拡大が多くなっている。
- ・ 引き続き、事業評価における事業の検証(実績や成果等)を踏まえ、より効果的・効率的な事業執行を図っていく必要がある。

[事業評価の概要]

区 分		R1 事業数(割合)
継 続		770(88.3%)
見直し (予定を 含む)	改 善	38(4.4%)
	拡 大	49(5.6%)
	縮 小	5(0.6%)
	廃止・終了(統合を含む)	10(1.1%)
	小 計	102(11.7%)
計		872(100.0%)

3 日本一施策事業について (別紙2参照)

- ・ 市民が誇りや愛着を持てるような、全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業(日本一施策事業)を創出・推進するため、平成30年度までの取組から63事業(新規3, 継続60)を選定した。
- ・ 選定された事業のうち、「ネットワーク型コンパクトシティ」に関する取組や「ジャパンカップサイクルロードレース」などの取組は、多くの自治体から視察を受け入れるなど、本市の発信力の向上にも寄与している。
- ・ 今後とも、本市ならではの特徴ある施策・事業を創出・推進し、広くアピールすることによって、本市の魅力を更に向上させ、東京圏からの移住・定住の促進などの取組に活用していく。

[選定の区分と考え方]

区分	考え方
トップクラス (日本でトップクラス)	活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの
独自性 (日本で唯一、宇都宮独自)	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
先駆的 (日本で先駆け)	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの

[新たに選定した取組]

区分	事業名	概要
独自性	市税納付推進 協力事業所制 度の推進	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが納期限内に市税を納めることができるよう、市が行う納税意識の啓発や収納対策に対し、本市と連携して従業員に積極的に働きかけを行う事業所を登録する制度 登録事業所は、市が送付する税情報（メルマガやチラシ等）の従業員への周知や口座振替の取りまとめなどに協力 市は、出前講座や市税相談、特に優れた取組を行った事業所の表彰、PRなどを実施 事業所と連携し、納付意識の醸成を図る本市独自の取組
独自性 先駆的	健康ポイント 事業	<ul style="list-style-type: none"> 運動や検診の受診などの健康づくり活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントに応じて協賛企業提供物品等を提供する。 「自転車のまちうつつのみや」の取組と連携して、「自転車に乗る」活動をポイント付与の対象とするほか、地元プロスポーツチームと連携し、試合会場を訪れた人にポイントを付与している。 歩数などのランキングを表示する機能やグループ機能により、励まし合いながら健康づくりに取り組めるほか、健康情報の提供も可能とした。 先駆的な取組として、「歩く」・「自転車に乗る」の活動量の計測に「メッツ・時（METs-h）」を取り入れ、様々な活動を統一の尺度で計測できるようにしたほか、歩数等のグラフ表示による活動状況の見える化や健康情報の提供も可能とした。 「自転車のまちうつつのみや」の独自の取組として、「自転車に乗る」をポイント付与の対象とした。
先駆的	「大谷石文化」 の日本遺産認 定	<ul style="list-style-type: none"> 本市に根付く「大谷石文化」のストーリーを作成し、単一の市町村でストーリーが完結する「地域型」の日本遺産の認定を受ける。（文化庁が全国で100件の認定を目指す日本遺産として認定を受ける。） 日本遺産認定を契機とし、官民協働の「大谷石文化推進協議会」を設立し、大谷石文化の保存・活用を通じた地域活性化事業に取り組む。

4 評価結果等の活用

本年度実施した評価の結果については、各施策の進捗状況や課題を総合計画実施計画の策定に活用していくほか、予算編成、行政改革の推進、補助金等の見直し等に活用していく。